安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意）が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

禁止
ACアダプターを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。
●設置時に、ACアダプターを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
●重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
●熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
●ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
●極端に折り曲げないでください。
●ACアダプターを接続したまま、機器を移動しないでください。
万一、ACアダプターが傷んだら、弊社サポートセンターまたはお買い上げ販売店にご相談ください。

分解禁止
本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く
煙が出たり変な臭いや音がしたら、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐにACアダプターを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止
AC100V(50/60Hz)以外のACコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制
ACアダプターは、ACコンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全のまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

強制
ACアダプターは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外のACアダプターをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグを抜く
液体や異物などが内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止
風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

電源プラグを抜く
電源製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
けがをする危険があります。

⚠注意

禁止
ACアダプターがACコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
感電の原因となります。

強制
静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止
次の場所には設置しないでください。
感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。
●強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
●静電気が発生するところ（故障の原因となります）
●震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
●平らでないところ（転倒したり、落下して、けがの原因となります）
●直射日光が当たるところ（故障や変形の原因となります）
●火気の周辺、または熱気がこもるところ（故障や変形の原因となります）
●漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
●漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）

強制
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

切り取り

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件の下において修理を致します。
・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社バッファロー
本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お　名　前	フリガナ
ご　住　所	〒 TEL:（　　）　　－

製　品　名	
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　　月　　日 ご購入日が確認できる書類（レシートなど）を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当

切り取り

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

らくらく！セットアップシート
2009年4月6日 第6版発行　発行 株式会社バッファロー

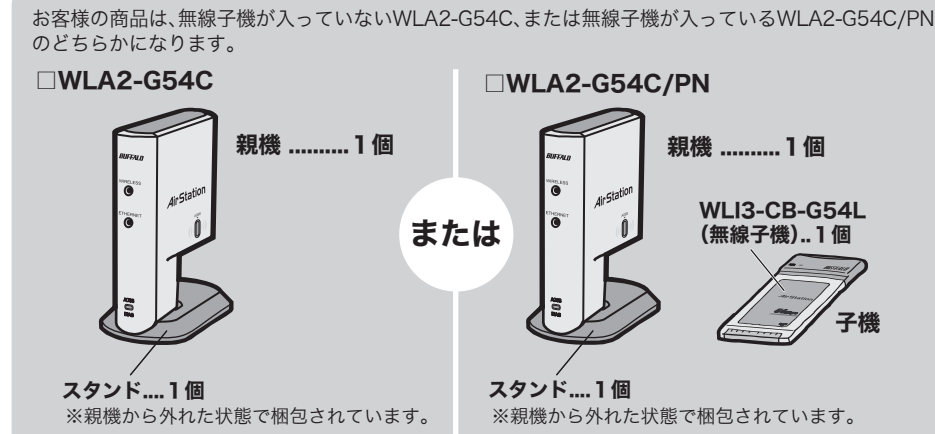
BUFFALO
35003729 ver.06 6-01 C10-013

WLA2-G54Cシリーズ マニュアル
らくらく! セットアップシート

このたびは、AirStation™をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

セットアップしよう

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

お客様の商品は、無線子機が入っていないWLA2-G54C、または無線子機が入っているWLA2-G54C/PNのどちらかになります。

□WLA2-G54C　　または　　□WLA2-G54C/PN

□LANケーブル（ストレート）.............1本
□エアナビゲータCD............................1枚
□らくらく！
セットアップシート（本紙）................1枚
□壁掛けキット（ホルダ・ねじ×２）.........1式
□ACアダプター..1個
□無線LAN設定サービス申込書 1枚

※本製品は、本紙によってセットアップができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。本紙よりも詳細な情報が必要な場合は、エアナビゲータCD内の「エアステーション設定ガイド」を参照してください。
※本製品の保証書は本紙に印刷されています。修理の際は、必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。
※本製品は、GPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。詳細は、添付CD-ROM内の「gpl.txt」をご覧ください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。
本紙の手順に従って、セキュリティー設定を行った状態で、本製品をお使いください。
また、「エアステーション設定ガイド」の「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意」もあわせてお読みください。

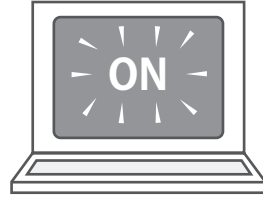
ステップ2 無線親機を接続しよう

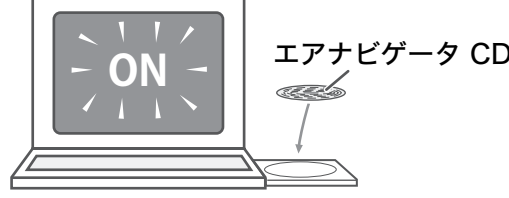
ステップ3へつづく

ステップ3 無線子機を取り付けよう

ドライバーをインストールして、無線子機をパソコンに取り付けます。

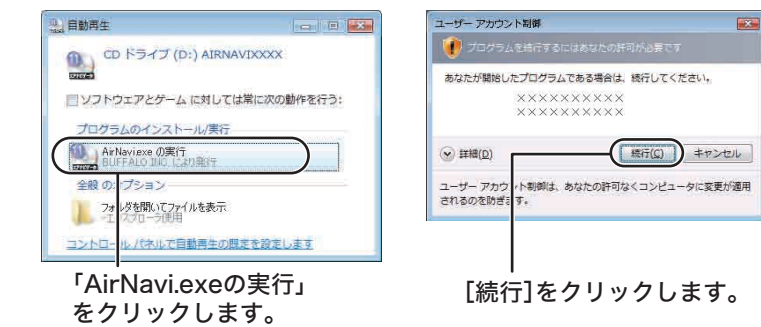
まだ取り付けないでください
無線子機は、取り付け指示があるまで、取り付けないでください。
先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、無線子機を取り外してください。

❶ パソコンを起動します。

Windows 2000/98SEをお使いの方へ
Internet Explorer5.5以降がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、作業をはじめる前に[スタート]－[Windows Update]を選択して、InternetExplorerをバージョンアップしてください。

❷ 添付のCD-ROM（エアナビゲータCD）をパソコンにセットします。しばらくすると、エアナビゲータが起動します。

注意　以下の画面が表示されたら？（Windows Vistaの場合）

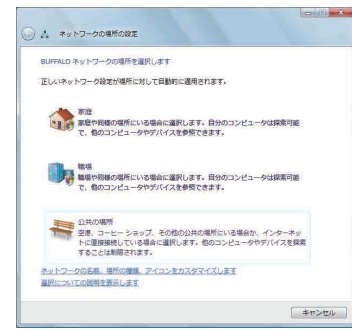
「AirNavi.exeの実行」をクリックします。

[続行]をクリックします。

❸

「かんたんスタート」をクリックします。

❹ 画面にしたがって、セットアップを行ってください。

インターネットに接続できたら、セットアップは完了です。

「ネットワークの場所の設定」画面が表示された場合（Windows Vistaをお使いの場合）

左の画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。

次ページへつづく

困ったときは

「画面で見るマニュアル」※1の「「困った」を解決する」を参照してください
画面・イラストを使ったわかりやすい解決策が記載してあります。

Q1. 無線親機と無線子機がAOSSで無線接続できない

A1. 無線親機と無線子機を近づけてから、無線接続を行ってください。
※下記を参照して、無線接続してください。
Windows XP/2000/Me/98SEの場合：→Q2へ
Windows Vistaの場合：→Q3へ

A2. パソコンにセキュリティーソフトなどがインストールされている場合は、ファイアウォール機能を無効にしていただくか、アンインストールしてください。各セキュリティーソフトの設定に関しては、ソフトウェアメーカーにご確認ください。
※「画面で見るマニュアル「エアステーション設定ガイド」」※1の「「困った」を解決する」→「セキュリティーソフト・Windowsのファイアウォール機能を無効にする方法/パソコンの常駐ソフトを解除する方法」を参考にしてください。

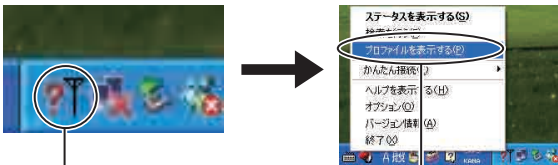
A3. 無線親機、無線子機付属のエアナビゲータCDのうち、バージョンの新しいエアナビゲータCDで再度インストールを行ってください。
1.付属CD-ROM「エアナビゲータCD」から「オプション」－「ドライバーの削除」を実行して無線子機のドライバーを削除します。
2.無線子機をパソコンから取り外して、パソコンを再起動します。
3.再度、「ステップ3 無線子機を取り付けよう」を参照して、セットアップを行います。

A4. 無線親機の電源を入れなおしてください。
※ACアダプターは、無線親機のDCコネクターに奥までしっかりと差し込んでください。

A5. 無線親機の無線チャンネルを変更してください。
有線LANポートを搭載したパソコンから、下記の手順で無線チャンネルを変更してください。
1.添付のLANケーブルで無線親機とパソコンを接続します。
2.右の「設定画面を表示するには」を参照して、設定画面を表示します。
3.設定画面が表示されますので、[アドバンスト(詳細設定)]をクリックします。
4.「無線チャンネル」を6チャンネルに変更して、[設定]をクリックします。
5.設定後、無線パソコン(子機)から無線親機に接続できることを確認します。
※上記の手順で接続できない場合は、無線チャンネルを1チャンネル/3チャンネル/13チャンネルのような別の無線チャンネルに変更して、接続できるか確認してください。
※詳細な手順は、「エアステーション設定ガイド※1」の「マニュアルを読む」の中の「電波状態が悪いときの設定方法(チャンネル変更)」を参照してください。

Q2. 自動セキュリティー設定「AOSS」で無線接続したい(Windows XP/2000/Me/98SEをお使いの場合)

A1. Windows XP/2000/Me/98SEから、AOSSでAirStation(親機)と無線子機を無線接続するには、以下の手順で行います。

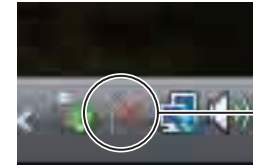
①画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「プロファイルを表示する」を選択します。

右クリック　「プロファイルを表示する」を選択

②
「WPS/AOSS」ボタンをクリックします。

③ 以後は、画面にしたがって接続を完了させてください。

Q3. 自動セキュリティー設定「AOSS」で無線接続したい(Windows Vistaをお使いの場合)

A1. Windows Vistaから、AOSSでAirStation(親機)と無線子機を無線接続するには、以下の手順で行います。

①画面右下のタスクトレイにある または アイコンをクリックします。

クリック

②
「接続先の作成」をクリックします。

③以後は、画面にしたがって接続を完了させてください。

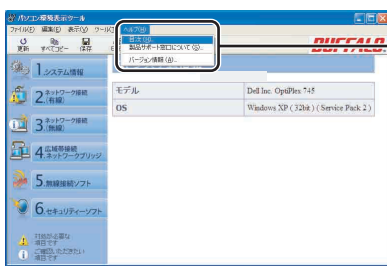
※1 「画面で見るマニュアルの読み方」(P.3)を参照。

パソコンの設定を確認するには

「パソコン環境表示ツール」を使用すると、パソコンで無線接続するためのさまざまな設定の状態を、自動的に調べて表示できます。インターネットに接続できない、無線接続が完了しないときなどにご使用ください。

1.[スタート]－[(すべての)プログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[パソコン環境表示ツール]をクリックします。
2.「パソコン環境表示ツール」が起動します。

パソコン環境表示ツールの使い方

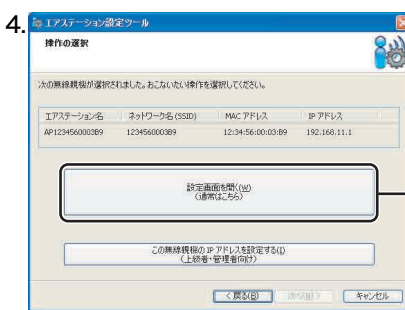
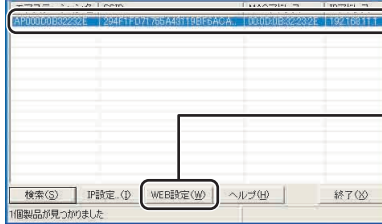
「パソコン環境表示ツール」のヘルプを参照してください。

「ヘルプ」－「目次」をクリックすると、ヘルプが表示されます。

※「パソコン環境表示ツール」はWindows Vista/XP対応です。

設定画面を表示するには

さらに細かな設定を行う場合は、設定画面から行います。以下の手順で無線親機の設定画面を表示してください。

Windows Vista/XP の場合

1.[スタート]－[(すべての)プログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[エアステーション設定ツール]を選択します。
2.[次へ]をクリックします。
3.
①自動的に検索された無線親機を選択します。
②[次へ]をクリックします。

4.
[設定画面を開く]をクリックします。

5.ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザー名」欄⇒root(小文字)、「パスワード」欄⇒空欄として、[OK]をクリックします。
6.設定画面が表示されます。

Windows 2000/Me/98SE の場合

1.[スタート]－[(すべての)プログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[AirStation設定ツール]を選択します。
2.
①自動的に検索された無線親機を選択します。
②[WEB設定]をクリックします。

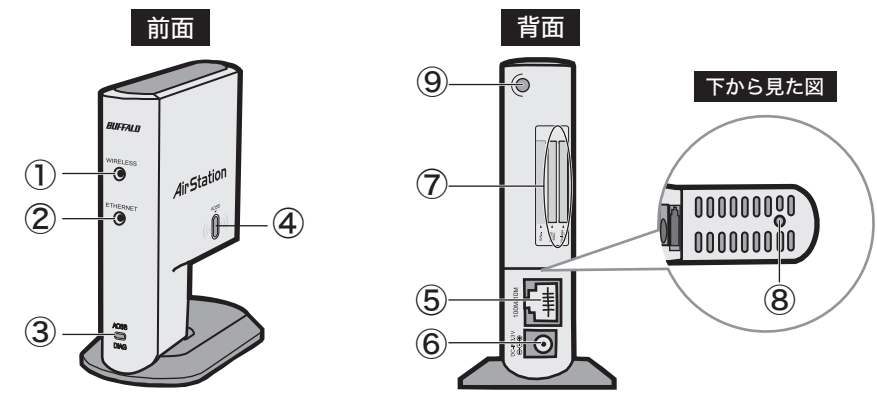
3.ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザー名」欄⇒root(小文字)、「パスワード」欄⇒空欄として、[OK]をクリックします。
4.設定画面が表示されます。

Windows 98/95/NT4.0 の場合

1.WEBブラウザー(InternetExplorerなど)を起動します。
2.WEBブラウザーのアドレス欄に無線親機のIPアドレスを入力し、[Enter]キーを押します。
3.ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、「ユーザー名」欄⇒root(小文字)、「パスワード」欄⇒空欄として、[OK]をクリックします。
4.設定画面が表示されます。

各部の名称とはたらき

無線親機の各部の名称とはたらきを説明します。

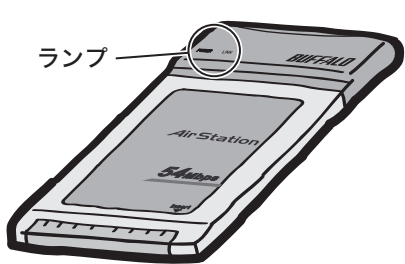
無線親機(WLA2-G54C)

① **WIRELESSランプ(緑)**　点灯：無線LAN接続が有効時　点滅：無線LAN通信中
② **ETHERNETランプ(緑)**　点灯：リンク時　点滅：通信時
③ **AOSS/DIAGランプ**　点滅回数により無線親機の状態を示します。
※親機の電源を投入した際にも、しばらく赤点灯します。

点滅回数	内　容
点灯(橙)	セキュリティー交換処理が成功し、運用中(AOSS成功)
2回点滅(橙)	無線親機がセキュリティーキー交換処理を行える状態(AOSS 待機中)
点滅(橙)	セキュリティー交換処理に失敗(AOSS失敗)
連続点滅(赤)※1	設定書き込み時およびファームウェア更新時
3回(赤)※2	有線LAN コントローラーが故障しています。
4回(赤)※2	無線LAN コントローラーが故障しています。

※1 ファームウェア更新中と設定保存中は、絶対にACアダプターをコンセントから抜かないでください。
※2 一度、ACアダプターをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込んでください。再びランプが点滅している場合は、弊社修理センター宛てに本製品をお送りください。

④ **AOSS ボタン**　電源ON時に、AOSS/DIAG ランプが橙色点滅するまで(約3秒間)スイッチを押すと、セキュリティーキー交換処理を行える状態(AOSS 動作状態)になります。
⑤ **LANポート**　有線LAN接続可能なパソコン/ゲーム機/デジタル家電/プリンターなどを接続します。
⑥ **DCコネクター**　付属のACアダプターを接続します。
⑦ **MACアドレス(Wired MAC/Wireless MAC)**　無線親機のMACアドレスが記載されています。
⑧ **設定初期化スイッチ**　電源を入れた状態で、前面パネルにあるAOSS/DIAGランプが赤色点灯するまで(約3秒間)スイッチを押し続けると、設定が初期化されます。
⑨ **外部アンテナ用コネクター**　別売の外付けアンテナを接続します。ふたを外してから接続します。

無線子機(WLI3-CB-G54L)

※WLA2-G54C/PNの方のみ
POWERランプ(緑)　点灯：動作時
LINKランプ(緑)　点滅：通信時

主な仕様／出荷時設定値

●無線親機の主な仕様

データ転送速度　10/100Mbps(自動認識)
ポート数　1ポート(AUTO-MDIX対応)
消費電力　最大4.0W
動作温度/動作湿度　0～40℃/20～80%(結露なきこと)
外形寸法　56(W) X 120(H) X 92(D)mm

●無線親機の主な出荷時設定

項　目	出荷時設定
LAN設定	
SSID	無線親機の有線MACアドレスを設定 ※有線MACアドレス(Wired Mac)は親機背面に記載
無線チャンネル	11チャンネル
DTIM Period	1
IPアドレス	192.168.11.100(255.255.255.0)
フレームバースト	使用する
802.11gプロテクション	ON
管　理	
管理ユーザー名・パスワード	root / 設定なし

無線親機の製品仕様および製品概要については、エアナビゲータCD内「エアステーション設定ガイド」を参照してください。
無線親機のすべての出荷時設定値は、エアステーション設定ガイドの「マニュアルを読む」→「製品情報」→「無線親機」→「設定項目一覧」に記載されています。
無線子機の製品概要および詳細な使い方については、弊社ホームページ(buffalo.jp)のマニュアルダウンロードページに掲載しているマニュアルを参照してください。

画面で見るマニュアルの読み方「エアステーション設定ガイド」

設定で困ったときや、さらに細かな設定をする場合は、以下の手順で「画面で見るマニュアル「エアステーション設定ガイド」」を参照してください。
※「画面で見るマニュアル「エアステーション設定ガイド」」には、ネットゲームを楽しんだり、WWWサーバーを公開したりする手順も記載されています。

1.CD-ROM「エアナビゲータCD」をパソコンにセットします。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[AIRNAVI.EXEの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。
2.[マニュアルを読む]をクリックします。
3.「マニュアルをインストールしてから読みますか？」と表示されますので、インストールする場合は、[はい]をクリックします。
※インストールしたマニュアルは、[スタート]－[(すべての)プログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[エアステーション設定ガイド]から、いつでも参照することができます。
4.「エアステーション設定ガイド」が表示されますので、ご覧になりたい項目を　クリックしてください。

Webで解決　バッファローホームページ(buffalo.jp)トップの検索ウィンドウに半角で「**8002**」と入力し、検索ボタンをクリックすると、よくある質問を表示します。困ったときにご参照ください。
8002　検索

壁掛けキットの取り付け方

無線親機を壁に取り付けるときは、次の手順で行ってください。

❶ ホルダを壁にねじ止めします。

❷ 無線親機にホルダを取り付けます。

❸ 手順1で取り付けたねじに、ホルダを再度取り付けます。

切り取り

保　証　契　約　約　款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo.等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条（修理）
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社修理センターにご送付ください。修理センターについては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、 修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条（免責事項）
1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条（有効範囲）
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

切り取り